

ぼうけんの本 ~ 1, 2年生へ~

八千代市立図書館

エルマーのぼうけん

ルース・スタイルス・ガネット / 作

わたなべしげお / 訳 福音館書店 [933 カ]

エルマーは、ある冷たい雨の日にのらねこに会います。そのねこから、かわいそうなりゅうがどうぶつ島にいることを聞きます。

この話をきいたエルマーは、りゅうをたすけるため、ひとりでぼうけんに出かけます。



ちびっこカムのぼうけん

神沢利子 / 作 理論社 [913 カ]

カムは、かあさんの病気をなおすため、どんな病気でもなおすというふしぎなイノチノクサをとりに、火の山へぼうけんに出かけます。

しかし、その山にはおそろしいことがいっぱいあり・・・。



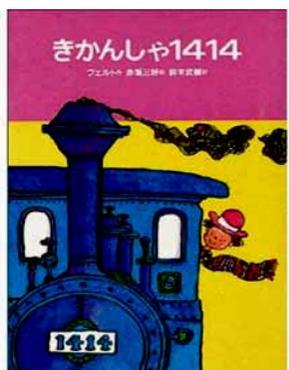
きかんしゃ1414

フリードリヒ=フェルト / 作

鈴木武樹 / 訳 偕成社 [943 フ]

きかんしゃの1414は、はたらきすぎて、つかれてしまいました。これまでのように、はやくはしることができません。

そこで、あるよる、きかんしゃ1414は、やすみをもらって、ぼうけんに出かけます。



ぼくのつくえはぼくのくに

佐藤さとる / 作 学研 [913 サ]

かおるくんのつくえの上には、いろいろなものが、ごちゃごちゃとおいてあります。

ある日、みちでひろった、まほうのとりのはねでつくえをなでると、へやは、ひろいひろいうみに、つくえは小さなしまになりました。



チム・ラビットのぼうけん

アリソン・アトリー / 作

石井桃子 / 訳 童心社 [933 ア]

チム・ラビットは、こわがりやのこうさぎ。こわいものであうと、すぐ家にとんでかえって、おかあさんになぐさめてもらいます。チムは、いろいろなことをおぼえて、いろいろなぼうけんをします。



たんたのたんけん

中川李枝子 / 作 学研 [913 ナ]

たんたのたんじょう日に、ライオンのえや、三かくや、やじるしがかいてある、ふしぎなちずがとどきました。たんたは、ねこよりもちょっと大きな、ひょうのこどもをつれて、ちずにでているジャングルへ、たんけんに出かけます。



~ ぼうけんのえほん ~

- ・ほしになつたりゅうのきば (君島久子 / 再話 赤羽末吉 / 絵 福音館書店 [E ア])
- ・あひるのピンのぼうけん (マージョリー・フラック / 文 クルト・ガイゼ / 絵 瑞雲舎 [E ビ])
- ・チムとゆうかなせんちょうさん (エドワード・アーデイズ / 作 福音館書店 [E ア])